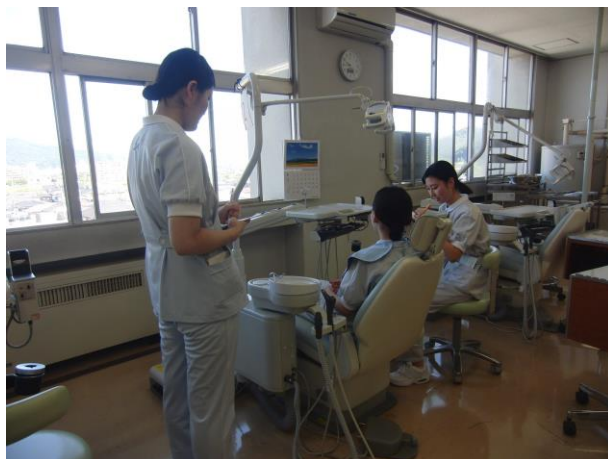


歯科衛生学科の学院での生活について、ご紹介します。

1年生の場合

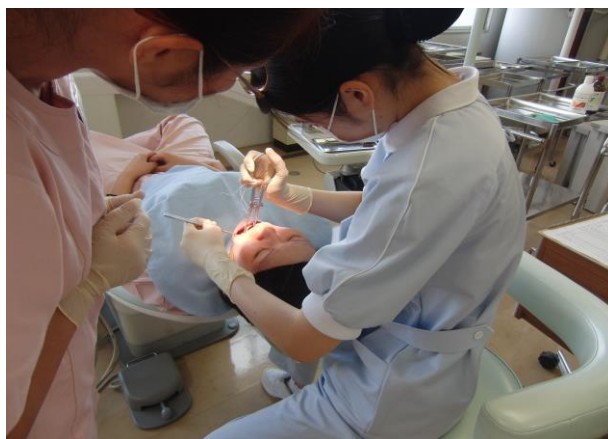


・口腔疾患予防管理の演習で、お互いの口の中を確認しています。

口の中は、とても狭いので確実に口の中が観察できるように、デンタルミラーに映して観る技術や口の中を明るく照らすためのライティングの技術が重要になります。

口の中は、唾液(つば)ですべり易く、歯は硬く、歯ぐきや頬は柔らかく、複雑なつくりになっています。

2年生の場合



・歯科診療補助の演習で、ラバーダム防湿を行っています。

ラバーダム防湿は、治療する歯が、唇や頬、舌などにくっつくのを防いで、治療する歯を唾液(つば)で濡れないようにして、口の中の事故を防ぎます。

ラバーダム防湿をしている歯は、ちょっと締め付けられるような感じがしますが、安全に治療をするために必要な準備です。

3年生の場合



・臨地実習で、行う高校生への歯科保健指導の練習をしています。

高校生への歯科保健指導には、一人一人に行う個別指導とクラス全員に行う歯科健康教育があります。

練習しているのは、クラス毎に行う歯科健康教育です。

一人でも多くの高校生に、口の健康を通じて元気になってほしいと考えて歯科健康教育の練習をしています。